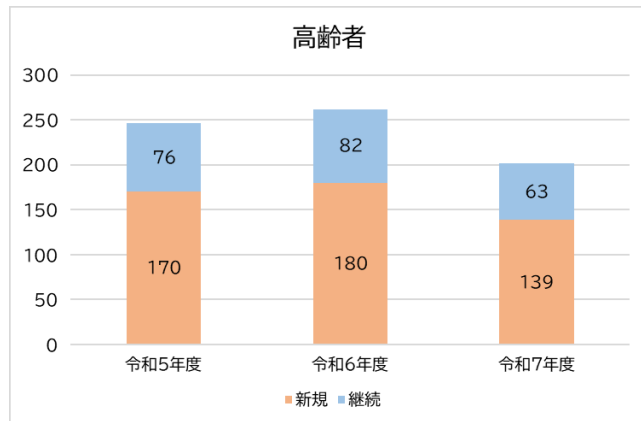
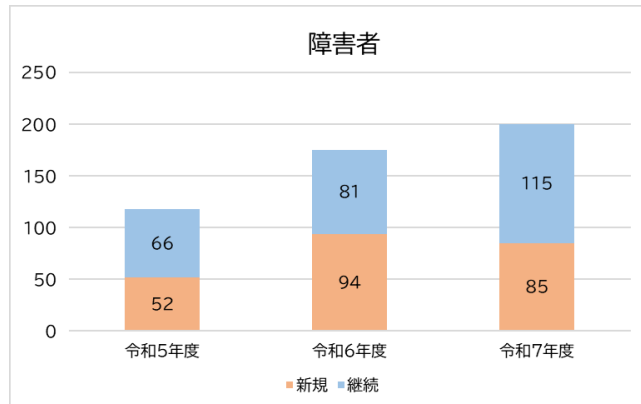


令和7年度松戸市成年後見相談室 相談受付状況

1. 相談件数



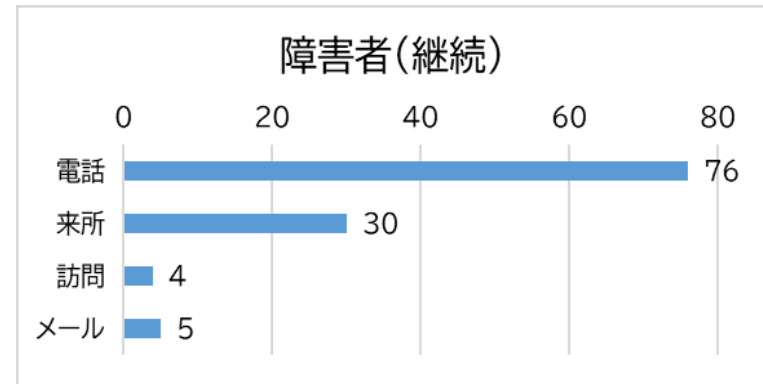
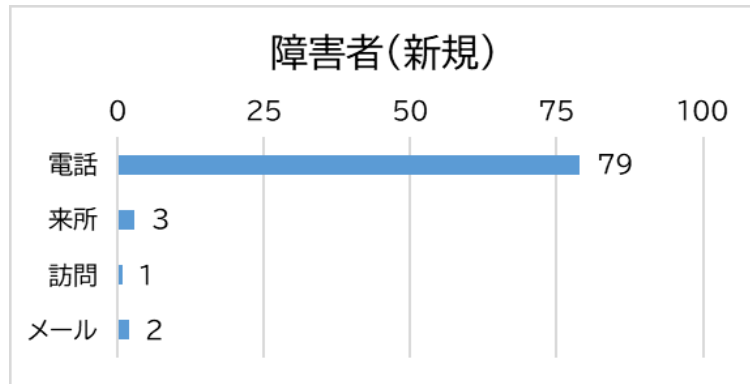
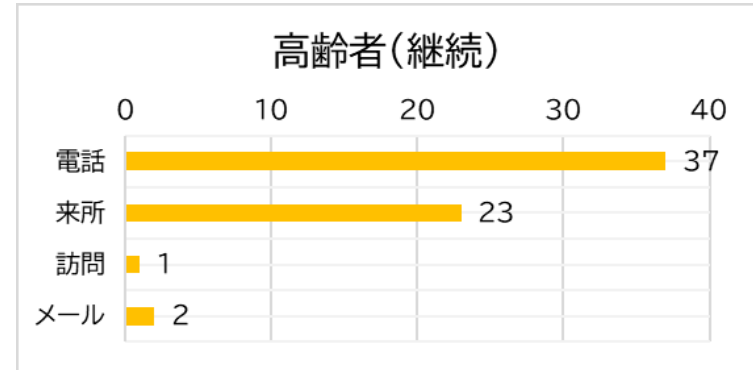
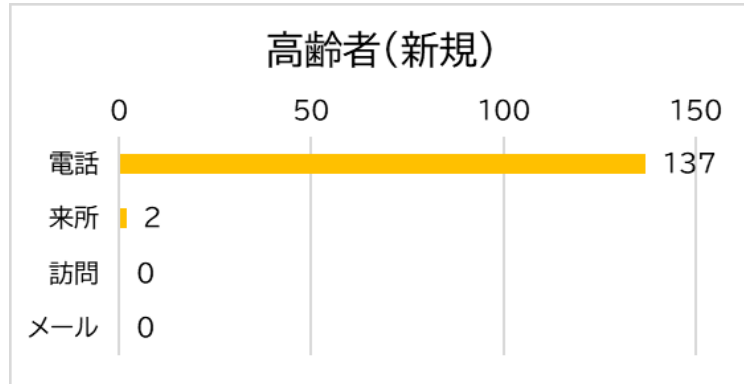
相談受付件数		令和5年度	令和6年度	令和7年度
高齢者	新規	170	180	139
	継続	76	82	63
	計	246	262	202
	割合	67.6	60.0	50.2



相談受付件数		令和5年度	令和6年度	令和7年度
障害者	新規	52	94	85
	継続	66	81	115
	計	118	175	200
	割合	32.4	40.0	49.8

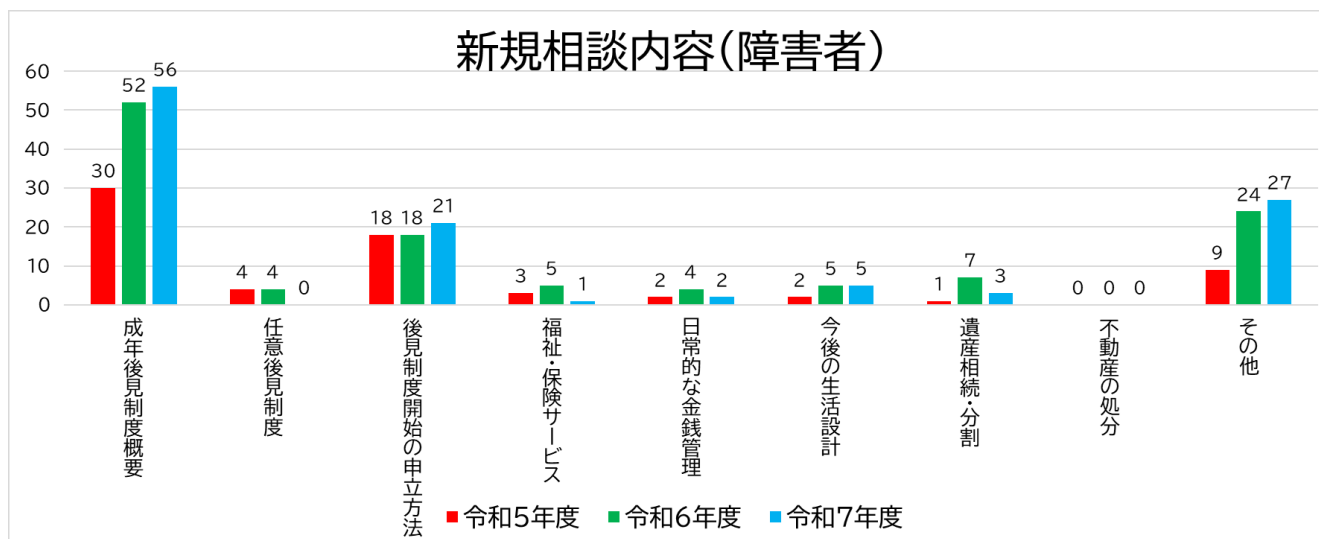
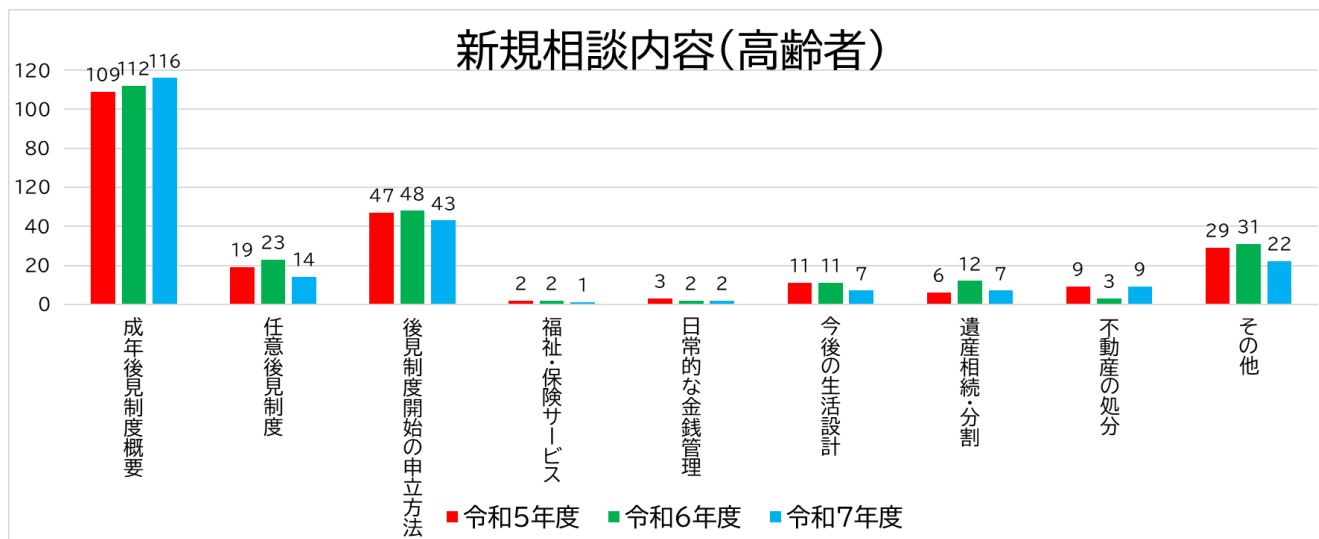
- ・高齢者相談の減少については、地域包括センターからの申立支援に関する問い合わせがほとんどなかったことが原因と思われる。
- ・障害者相談については、新規相談は微減しているものの、親や施設からの親亡き後についての継続的な相談が増えている傾向にある。

2. 相談方法



- ・高齢者、障害者ともに、電話の説明だけではなく、来所して詳しく相談をしたいというケースが増えている。
- ・チラシや施設など支援者からの紹介で問い合わせにつながっているケースが多い。
- ・来所相談が予約制であることを知っている方が増えている。

3. 相談内容(新規)

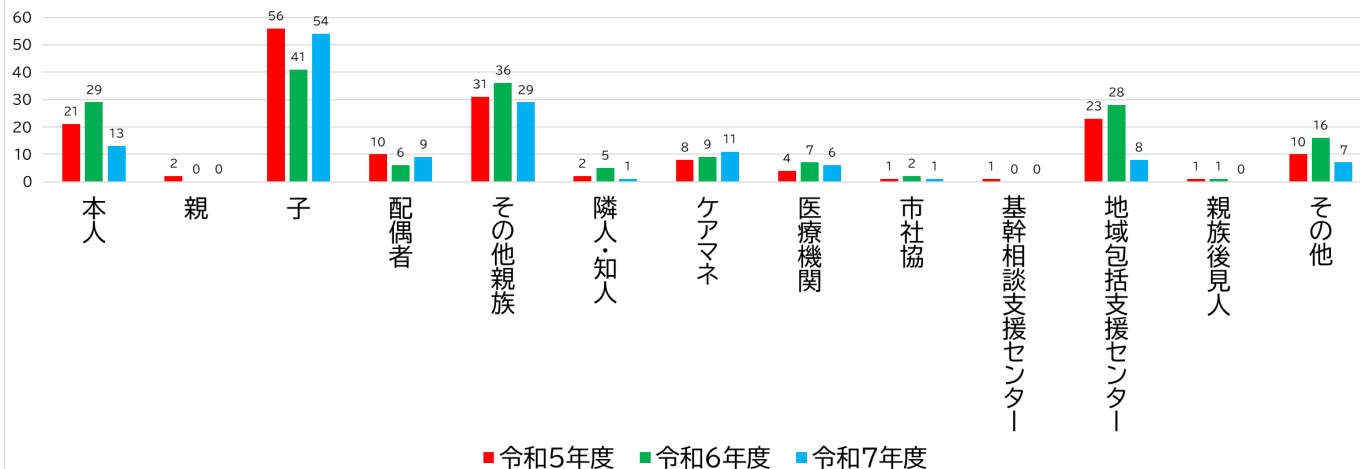


・高齢者については、独居、子や頼れる親族がいないというケースや、親族からの将来に備えて、という任意後見についての問い合わせが増えている。

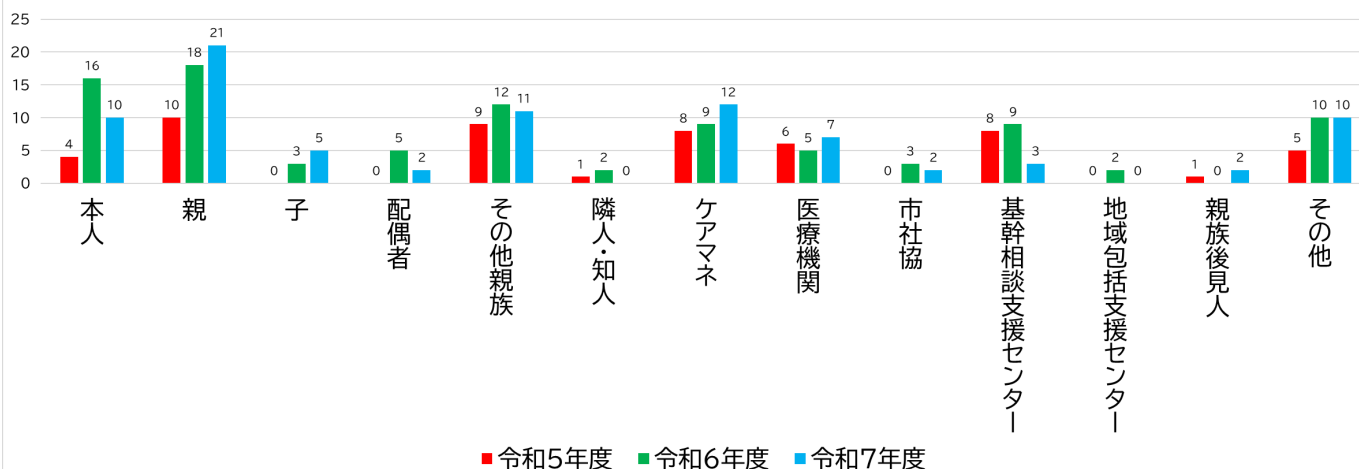
・障害者については、親から、そろそろ申立を検討した方がよいのか、という具体的な相談が多い。

4. 相談者(新規)

新規相談者(高齢者)



新規相談者(障害者)



【本人からの相談】
 ・高齢者については、独居や身寄りがいないので将来が不安というケースが多い。
 ・障害者については、後見制度と福祉サービスを混同しているケースが多い。